

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年6月24日(2022.6.24)

【国際公開番号】WO2019/243893

【公表番号】特表2021-528411(P2021-528411A)

【公表日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【出願番号】特願2020-570569(P2020-570569)

【国際特許分類】

C 0 7 K 1 6 / 2 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 7 K 1 4 / 5 2 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 1 N 3 3 / 5 7 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 1 2 N 1 5 / 1 3 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【F I】

C 0 7 K 1 6 / 2 4 Z N A

C 0 7 K 1 4 / 5 2

G 0 1 N 3 3 / 5 7 4 A

C 1 2 N 1 5 / 1 3

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年6月16日(2022.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象から得られる白血病抑制因子(LIF)を含む試料中のLIFを定量化することを含
む、癌を治療されるべき対象を決定する方法であって、該方法は、

30

a) 前記試料を、LIFに特異的に結合する捕捉抗体と接触させること；

b) 前記試料を、LIFと特異的に結合する検出抗体と接触させること；及び

c) 前記捕捉抗体及び前記検出抗体に結合されている前記試料中のLIFを検出すること

、
を含み、ここで前記LIF検出又は前記LIF捕捉抗体は、A4又はそのLIF結合断片
を含み；及び

前記癌を治療されるべき対象は、LIF治療用抗体を投与される、
方法。

【請求項2】

前記LIF治療用抗体が、

40

a) 配列番号1～3のいずれか1つに示したアミノ酸配列を含む免疫グロブリン重鎖相補
性決定領域1(VH-CDR1)；

b) 配列番号4又は5のいずれか1つに示したアミノ酸配列を含む免疫グロブリン重鎖相
補性決定領域2(VH-CDR2)；

c) 配列番号6～8のいずれか1つに示したアミノ酸配列を含む免疫グロブリン重鎖相補
性決定領域3(VH-CDR3)；

d) 配列番号9又は10のいずれか1つに示したアミノ酸配列を含む免疫グロブリン軽鎖
相補性決定領域1(VL-CDR1)；

e) 配列番号11又は12のいずれか1つに示したアミノ酸配列を含む免疫グロブリン軽
鎖相補性決定領域2(VL-CDR2)；及び

50

f) 配列番号 13 に示したアミノ酸配列を含む免疫グロブリン軽鎖相補性決定領域 3 (VL - CDR3)

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 L I F 治療用抗体が、

a) 配列番号 14、15、17、又は 38 のいずれか 1 つに示したアミノ酸配列と少なくとも約 80%、90%、95%、97%、98%、又は 99% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン重鎖可変領域 (VH) 配列；及び

b) 配列番号 18 ~ 21 のいずれか 1 つに示したアミノ酸配列と少なくとも約 80%、90%、95%、97%、98%、又は 99% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン軽鎖可変領域 (VL) 配列

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 L I F 治療用抗体が、

a) 配列番号 30 ~ 33 又は 39 のいずれか 1 つに示したアミノ酸配列と少なくとも約 80%、90%、95%、97%、98%、又は 99% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン重鎖配列；及び

b) 配列番号 34 ~ 37 のいずれか 1 つに示したアミノ酸配列と少なくとも約 80%、90%、95%、97%、98%、又は 99% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン軽鎖配列

を含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 L I F 捕捉抗体が、ある表面に結合され、前記表面が導電性物質である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 L I F 検出抗体が、検出可能な部分に結合され、前記検出可能な部分が、化学シグナル、電気化学シグナル、発光シグナル、若しくは蛍光シグナルを生じる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 L I F 捕捉抗体及び前記 L I F 検出抗体が、gp130 と物理的に相互作用する L I F の領域に結合しない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 L I F 捕捉抗体又は前記 L I F 検出抗体が、

a) 配列番号 41 に示したアミノ酸配列と少なくとも約 80%、90%、95%、97%、98%、又は 99% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン重鎖可変領域配列；及び

b) 配列番号 42 に示したアミノ酸配列と少なくとも約 80%、90%、95%、97%、98%、又は 99% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン軽鎖可変領域配列

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 L I F を含む試料が、マルチウェルプレートの少なくとも 1 つのウェルに含有されるか、又は前記 L I F を含む試料が、96 ウェルプレート、384 ウェルプレート、又は 1536 ウェルプレートの少なくとも 1 つのウェルに含有される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

白血病抑制因子 (L I F) 結合抗体又はその断片であって、

a) 配列番号 41 に示したアミノ酸配列と少なくとも約 90% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン重鎖可変領域；及び

b) 配列番号 42 に示したアミノ酸配列と少なくとも約 90% 同一のアミノ酸配列を有する免疫グロブリン軽鎖可変領域

を含む、L I F 結合抗体又はその断片。

10

20

30

40

50

【請求項 1 1】

免疫グロブリン重鎖可変領域が、配列番号 4 1 に示したアミノ酸配列と少なくとも約 9 5 % 同一のアミノ酸配列を含み；
前記免疫グロブリン軽鎖可変領域が、配列番号 4 2 に示したアミノ酸配列と少なくとも約 9 5 % 同一のアミノ酸配列を含む、
請求項 1 0 に記載の L I F 結合抗体又はその断片。

【請求項 1 2】

前記免疫グロブリン重鎖可変領域が、配列番号 4 1 に示したアミノ酸配列を含み；
前記免疫グロブリン軽鎖可変領域が、配列番号 4 2 に示したアミノ酸配列を含む、
請求項 1 1 に記載の L I F 結合抗体又はその断片。

10

【請求項 1 3】

前記 L I F 結合抗体が、検出可能な部分に結合され、前記検出可能な部分が、化学シグナル、電気化学シグナル、発光シグナル、若しくは蛍光シグナルを生じる、請求項 1 2 に記載の L I F 結合抗体又はその断片。

【請求項 1 4】

前記 L I F 結合抗体が、L I F に特異的に結合する、請求項 1 0 に記載の L I F 結合抗体又はその断片。

20

30

40

50